



2026 年度事業計画

一般社団法人沼津青年会議所

基本理念

つながりを力に、笑顔あふれる未来へ

基本方針

1. 思いやりの心で行動し、互いに支え合う組織をつくる。
2. 学びと出会いを通じて成長し、その価値を仲間と共有する。
3. つながりを広げ、笑顔あふれる未来を共につくる。

2026 年度 沼津 JC スローガン



－ 共に未来へ －

2026 年度 理事長所信

理事長 井口 智史

はじめに

沼津青年会議所は、戦後復興の混乱期に芽吹き、高度経済成長の波とともに地域の発展を支え、バブル経済の崩壊や度重なる景気の後退、さらにはリーマンショックや新型コロナウイルスの感染拡大と行動制限によって生じた社会的停滞といった幾多の試練を乗り越えてきました。そのすべての時代において、私たちの胸にあり続けたのは「明るい豊かな社会の実現」という変わらぬ理念です。

71 年という長い歩みの中で、先輩諸氏がそれぞれの時代の課題に向き合い、ときには厳しい局面を仲間と力を合わせて乗り越えてこられました。その姿勢こそ、私たちが受け継ぐべき大切な財産です。そしてこの活動を支えてくださったのが、地域の皆さま、会員を支えるご家族や周りの方々です。このようなつながりの輪があったからこそ、沼津青年会議所は 71 年もの間、地域に根差した活動を続けることができました。ここに心より感謝申し上げます。

かつて 170 名を超える仲間とともに活動していた沼津青年会議所は、現在では規模こそ小さくなりましたが、その分、一人ひとりの思いや行動が組織全体に大きな力をもたらしています。だからこそ、一人ひとりが持つ個性ある光を仲間とつなぎ合わせ、大きな光にしてこのまちを照らしていくことが求められます。

本年度は「つながりを力に、笑顔あふれる未来へ」を基本理念として掲げました。これまで先輩諸氏が築いてくださったつながりの輪をより強固にすることで、沼津青年会議所の光がさらに大きくなり、未来を照らす原動力になると信じています。私たちはこの一年を、仲間を大切に、共に成長し、会員一人ひとりが新たな挑戦を重ねる一年としてまいります。

共に歩む仲間

71 年の歴史を紡いでくださった先輩諸氏がそうであったように、青年会議所では志を同じくする仲間と共に地域のために何ができるかを考え、悩み、立ち向かうことで、かけがえのない友情を築くことができます。一人で乗り越えられない壁も、仲間とだからこそ乗り越えることができる。仲間と手を取り合い、時にぶつかりながらも共に活動するからこそ大きな成果を生み出すことができると確信しております。

そのためにはやはり、組織内の雰囲気作りは欠かせません。仲間の努力を称え、共に喜び、感謝を伝え合う。そのような組織においての当たり前の事を、当たり前に行う。凡事徹底を愚直に行うことこそがより良い組織運営への近道であると考えます。

また、我々が日々多くの学びの機会を得ている裏には必ず誰かの支えがあります。青年会議所の意義を理解し、応援し、送り出してくださる家族や周りの方々への感謝の気持ちも忘

れてはなりません。こうした基盤を大切にしながら、会員が安心して挑戦できる環境を構築する。そこで生まれる友情、そして家族や周りの方々の理解に支えられた活動こそが、青年会議所の未来を切り拓く力となるのです。

多様な出会いが導く未来

沼津青年会議所がこのまちに信頼され、常により良い事業を展開し続けていくためには、多様な能力や個性を持つ新たな仲間の存在が欠かせません。その多様性が広がるほど運動の幅は広がり、そしてその仲間が一つとなって行動を起こすことで、このまちに与える影響も大きくなります。

そのために私たちは、このまちの青年が互いにつながれる機会を創出し、出会いや交流を通じて新たな仲間の輪を拓ける。そして、組織全体で共有できる仕組みを活用し、一人ひとりが会員拡大を“自分ごと”という思いをもって、関わるができる取り組みを進めてまいります。

笑顔あふれるまちづくり

我々青年会議所が掲げる理念「明るい豊かな社会の実現」その答えの一つは、笑顔あふれるまちであると考えます。とりわけ子どもたちの笑顔は純粋で心からあふれるものであり、周囲の大人の心を明るくし、まち全体を温かな空気で包み込んでくれます。

私たちは、ただ一時的に笑顔を生み出すのではなく、このまちの大人と共に子どもたちの笑顔を育む運動を構築していきます。そしてその運動がまち全体に広がることで、やがてまちの文化として根づいていくでしょう。子どもたちが得た経験や思い出は、成長とともに次の世代へと受け継がれ、さらに大きな笑顔の循環を生み出していくはずです。

本年度は、このまちの大人たちと協同し、沼津の未来を担う子どもたちがこのまちの魅力を感じ、楽しい思い出を心に刻むことができるような機会を創出してまいります。あわせて、沼津青年会議所の多岐にわたる活動を積極的に発信し、一人でも多くの理解者や協力者を増やすことで、我々の運動をより効果的に展開してまいります。

出会いが広げる無限の可能性

青年会議所の大きな魅力の一つは、地域や国籍を問わず、様々な価値観を持つ同世代との出会いを通じて新たな発見の機会を得られることにあります。県内外での会議や大会への参加、海外の方々との交流を通じて得られる数多くの出会いや気づきは、自身の視野を大きく広げ、これまで気づかなかった発見や新たな学びを与えてくれます。まさに「百聞は一見に如かず」というように、自らが見て、聞き、体験することで得られる発見や学びに勝るものはありません。私たちは、一つひとつの機会を逃すことのないよう、その意義や目的をしっかりと理解し、一人でも多くの正会員と共に参加することで得た学びを、会員それぞれの成長と、沼津青年会議所のさらなる発展へとつなげてまいります。

さらに本年度は、東部 9JC 合同公式訪問例会の主管や、姉妹 LOM である台湾の龍山國際青年商會の来訪など、私たちが迎え入れる機会も控えております。地域や国籍は異なっても、同じ志のもとに活動する仲間をおもてなしの心を持ってお迎えし、さらなる交流を深めることで、先輩諸氏から受け継いできたつながりの輪をより一層強固なものとしてまいります。

学びを力に

青年会議所は「大人の学び舎」と呼ばれるように、多くの学びの機会があります。しかし、その機会は待っているだけで手に入るものではなく、自らの意志と行動によって掴み取るものです。そして、真剣に取り組むことで成長や更なる機会を得ることができます。したがって、各自が与えられた成長の機会を逃さず、そこで得た学びを仲間と共有することにより相乗効果が生まれ、さらに多くの学びを得ると共に互いに高め合う素晴らしい関係を築くことができます。

本年度は、会員一人ひとりが成長の機会を最大限に活かせるよう意識の向上を図り、個々の成長、そして組織全体のさらなる発展を目指してまいります。

さいごに

一人ひとりの力には限りがありますが、仲間が力を合わせればその可能性は無限に広がります。一人では成し遂げることのできないことでも仲間の支えがあれば臆せず進むことができます。だからこそ、会員同士が互いに協力し、支え合いながら取り組むことが何よりも大切です。全員が同じ方向を向き、それぞれの力を重ね合わせることができれば、沼津青年会議所は必ずさらなる発展を遂げるはずです。

そしてその先に、私たちが掲げる「つながりを力に、笑顔あふれる未来へ」という理念の実現があると信じています。この一年、仲間と手を取り合い、共に笑い、心から仲間の挑戦を応援できる。そんな沼津青年会議所の未来を築いてまいります。

拡大・研修会議事業計画(案)

議長	後藤 譲治
副議長	藤田 大夢
予算	570,000円

＜基本方針＞

・このまちの青年が互いにつながることでできる機会を創出し、新たな仲間の輪の広がりを通じて会員拡大を全員で行う。

・会員一人ひとりが成長の機会を最大限に活かせるよう意識の向上を図り、そこで得た学びを仲間と共有することで相乗効果を生み出し、組織全体のさらなる発展を目指す。

＜事業計画＞

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 第1例会の企画運営(1月・10月) |
| 2 | 会員拡大に関する業務 |
| 3 | 新入会員オリエンテーションの企画・設営 |
| 4 | ゲスト及び新入会員のフォロー |
| 5 | 新入会員育成セミナーに関する業務 |
| 6 | 会員の資質向上に関する業務 |

＜活動予定表＞

[illegible]

まちづくり・広報委員会事業計画(案)

委員長	松田 翔太
副委員長	鈴木 佑貴
予算	2,600,000円

＜基本方針＞

- ・まちの大人を巻き込み、子どもたちの笑顔を育む機会を創出することで、次の世代へと紡がれる笑顔の循環を生み出し、笑顔あふれるまちづくりを推進する。
- ・沼津青年会議所の活動を迅速かつ分かりやすく発信することで、その存在を広く認知させるとともに、活動に対する興味を喚起し、協同の輪を広げる一助とする。

＜事業計画＞

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 第1例会の企画運営（5月・7月・11月） |
| 2 | 地域課題の調査・研究に関する業務 |
| 3 | JCサミットIZU会議に関する業務 |
| 4 | WEBサイト・SNSの管理 |
| 5 | 例会・事業・セミナー等の活動記録・広報業務 |

＜活動予定表＞

[illegible]

総務・財務委員会事業計画(案)

委員長	露木 辰暢
副委員長	長田 達郎
予算	60,000円

<p>・定款・諸規程を遵守し、年間スケジュールに基づいて円滑に委員会業務を遂行すると共に各委員会を支援することで、青年会議所活動全体の円滑且つ効果的な推進を図る。</p>

・定款・諸規程を遵守し、年間スケジュールに基づいて円滑に委員会業務を遂行すると共に各委員会を支援することで、青年会議所活動全体の円滑且つ効果的な推進を図る。

<p>＜事業計画＞</p> <p>1 第1例会の企画運営(2月・8月)</p> <p>2 総会の設営、運営(2月・8月・12月定時総会)</p>
--

- 1 第1例会の企画運営(2月・8月)
- 2 総会の設営、運営(2月・8月・12月定時総会)
- 3 財務審査
- 4 理事会の設営・運営並びに議事録作成・管理
- 5 会員名簿の管理
- 6 年次報告書の作成
- 7 事務局の運営・維持・管理
- 8 シニアクラブに関する業務
- 9 公式LINEの管理
- 10 運営改善に関する調査・研究
- 11 運営規程並びに会計規程、その他規程に定められた業務

＜活動予定表＞													
月 項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

[illegible]

渉外委員会事業計画(案)

小林 英太郎
中河原 誉
810,000円

・各種大会・会議等の登録業務及び参加行動計画の作成・実行とともに意義や目的、
得られる効果の周知を行い会員の積極的な参加を促す。

・来訪される方々におもてなしの心を持ってお迎えするとともに、地域を超えた交流を通じて
絆をより深める。

1	第1例会の企画運営(3月・9月)
2	LOM外の各種大会及びセミナー等に関する登録業務及び参加行動計画の作成・実行
3	出向者との連携調整業務
4	龍山国際青年商會との連絡調整窓口
5	東部9JC合同公式訪問例会の主管運営

[illegible]

会 員 委 員 会 事 業 計 画 (案)

堀江 直樹
渡邊 真太郎
350,000円

- ・会員同士が互いに認め合い、交流を通じて学びや経験を共有し、友情を深める。
- ・家族や周囲の方々の理解と支えに感謝し、より結束力のある組織の形成を期する。

1	第1例会の企画運営(4月・6月・12月)
2	例会セレモニーの準備並びに受付業務
3	運営規程に定められた業務

[illegible]

出 向 者

◎静岡ブロック協議会 出向者

直 前 会 長

大 川 皓 平

ア カ デ ミ ー 委 員 会

鈴 木 大 幾

中 河 原 誉

静 岡 の 魅 力 発 信 委 員 会

鈴 木 佑 貴

ビ ジ ネ ス 委 員 会

藤 田 大 夢

ブ ロ ッ ク 大 会 実 行 委 員 会

露 木 辰 暢

◎行政等委任委員

エフエムぬまづ株式会社 取締役	理 事 長	井 口 智 史
鉄道高架化とまちづくりを推進する会 副会長	理 事 長	井 口 智 史
沼津市社会福祉協議会 評議員	理 事 長	井 口 智 史
沼津市特別職報酬等審議会 委員	理 事 長	井 口 智 史
沼津市市民憲章推進協議会	監 事	高 木 隆 太
エフエムぬまづ番組審議委員会	監 事	高 木 隆 太
沼津市緑化推進協議会	監 事	高 木 隆 太
沼津市明るい選挙推進協議会	副 理 事 長	小 野 大 輔
沼津市「社会を明るくする運動」実施委員会	副 理 事 長	小 野 大 輔
沼津市夏まつり実行委員会灯ろう流し部会長	副 理 事 長	小 野 大 輔
鉄道高架化とまちづくりを推進する会 事務局	副 理 事 長	小 野 大 輔
沼津夏まつり実行委員会	専 務 理 事	杉 澤 一 平
燦々ぬまづ推進委員会	専 務 理 事	杉 澤 一 平
沼津市暴力追放推進協議会 監事	専 務 理 事	杉 澤 一 平
沼津国際交流協会 理事	専 務 理 事	杉 澤 一 平
公益財団法人沼津振興公社 理事	専 務 理 事	杉 澤 一 平

2026年度例会担当表

月	総 会		第1例会	
1			9 (金)	拡大・研修会議 新年賀詞交歓会
2	6 (金)	総務・財務委員会 定時総会	6 (金)	総務・財務委員会 定時総会
3			7 (土)	渉外委員会 東部9JC合同公式訪問例会
4			8 (水)	会員委員会 沼津JCデー
5			8 (金)	まちづくり・広報委員会
6			8 (月)	会員委員会
7			24 (金)	まちづくり・広報委員会 狩野川灯ろう流し
8	7 (金)	総務・財務委員会 定時総会	7 (金)	総務・財務委員会 定時総会
9			6 (日)	渉外委員会 第59回静岡ブロック大会(下田)
10			8 (木)	拡大・研修会議
11			6 (金)	まちづくり・広報委員会
12	4 (金)	総務・財務委員会 定時総会	8 (火)	会員委員会 卒業式・卒業生を送る会

定例会議・委員会日

会合日		会 合 名	時 間	場 所
第1火曜日		正副理事長会議	19:30 ～ 21:30	JCルーム
第3火曜日		理事会	19:30 ～ 21:30	JCルーム
8日		第1例会		
各月末日		財務審査	19:00 ～ 21:00	JCルーム
定例会議日	第3月曜日	拡大・研修会議	19:00 ～ 21:00	JCルーム
	第4水曜日	総務・財務委員会	19:30 ～ 21:30	
	第3木曜日	まちづくり・広報委員会	19:30 ～ 21:30	
	第1曜木日	渉外委員会	19:00 ～ 21:00	
	第3曜金日	会員委員会	19:00 ～ 21:00	

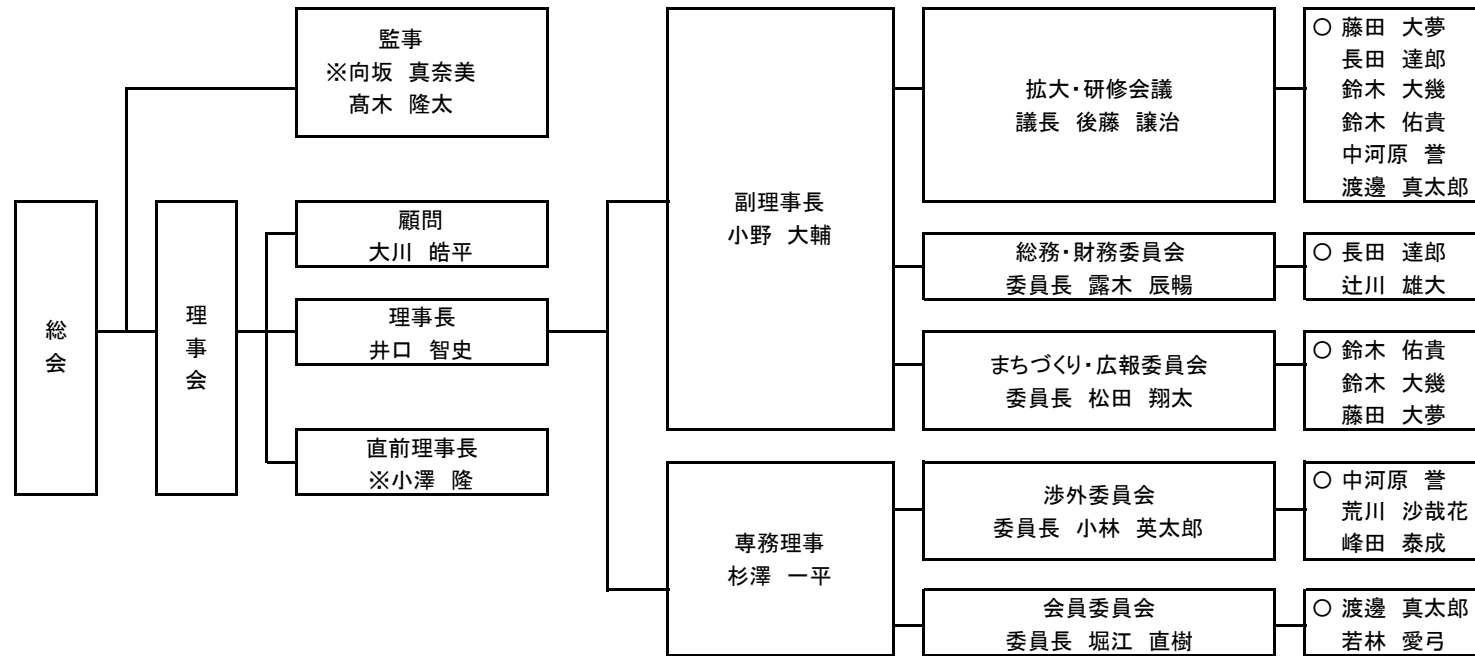
月1回	JCルーム清掃日	各委員会開催日
-----	----------	---------

2026年度 公式日程

	日本JC・JCI	東海地区	静岡ブロック	記念式典	例会等	理事会
1月	22日(木)～25日(日) 京都会議 24日(土) 総会 (京都)	23日(金) 第1回会員会議所会議 (京都)		浜松JC 4日(日) 新年賀詞交換会	9日(金) 第1例会 新年賀詞交歓会	16日(木)
2月			1日(日) 第1回会員会議所会議 第1回出向者合同会議 (熱海)		6日(金) 第1例会 定時総会	20日(木)
3月	28日(土) 総会 (東京)		15日(日) 第2回会員会議所会議 第2回理事長懇談会 (三島)	浜松JC 8日(日) 75周年記念式典	5日(木) 第1例会 東部9JC合同公式訪問例会 (沼津)	20日(木)
4月				富士宮JC 25日(日) 55周年記念式典	8日(水) 第1例会 沼津JCデー	17日(木)
5月			10日(日) 第3回会員会議所会議 第3回理事長懇談会 (島田)	熱海JC 24日(日) 70周年記念式典	8日(金) 第1例会	15日(木)
6月	11日(木)～14日(日) JCI ASPAC (日本 新潟)	27日(土) 第2回会員会議所会議 (三重・鈴鹿)	28日(日) 第4回会員会議所会議 第4回理事長懇談会 (裾野)		8日(月) 第1例会	19日(木)
7月	18(土)～19日(日) サマーコンファレンス (横浜)				24日(金) 第1例会 狩野川灯ろう流し	17日(木)
8月					7日(金) 第1例会 定時総会	21日(木)
9月		20日(日) 東海コンファレンス (三重・松坂)	5日(土) 第5回会員会議所会議 第5回理事長懇談会 (下田)		6日(日) 第1例会 第59回静岡ブロック大会 (下田)	18日(木)
10月	1日(木)～4日(日) 全国大会 2日(金) 総会 (神戸)		25日(日) 第6回会員会議所会議 第6回理事長懇談会 (浜松)		8日(木) 第1例会 新入会員育成セミナー最終会議	16日(木)
11月	11日(水)～15日(日) JCI世界会議 (フィリピン クラーク)	24日(火) 第3回会員会議所会議 (名古屋)		伊東JC 未定 70周年記念式典	6日(金) 第1例会	20日(木)
12月			10日(木) 第7回会員会議所会議 (Zoom)		8日(火) 第1例会 定時総会	18日(木)

一般社団法人沼津青年会議所

2026年度 組織図



※特別会員

○ 副委員長・副議長

特別会員

59	故 宇野 紳七郎 (03年永眠)	故 岡田 剛武 (19年永眠) 菊地 俊雄 佐藤 徳太郎 (22年永眠) 故 佐藤 亘弘 (07年永眠) 故 平山 義人 (98年永眠) 故 山田 喜万 (16年永眠) 故 吉田 修 (93年永眠)	一場 道彦 岩崎 英一 近藤 剛 酒井 吉彦 (22年永眠) 関原 規由 堤 正喜 長澤 芳明 故 久松 繁 (99年永眠) 山田 憲市	佐藤 直毅 庄司 邦夫 外 信之 田中 治之 牧野 栄一郎 山口 和一 山田 和彦	加藤 功圭一 白壁 卓己 高橋 裕行 平野 聖一 吉野 渡辺	室伏 誠							
61	故 野田 修 (15年永眠)					10	井草 雅彦 小笹 真也 川口 浩一 (19年永眠) 芹澤 剛 原田 浩 松田 一哉 米山 健						
62	故 高橋 明 (15年永眠)												
63	故 山内 益次郎 (06年永眠)												
67	故 中山 欽司 (94年永眠) 故 石川 三雄 (90年永眠)	78	故 大川 正夫 (12年永眠) 故 近藤 安敏 (16年永眠) 杉山 実 故 名取 賢吉 (17年永眠) 真島 秀行	88	石川 利郎 植松 哲 故 長田 豊久 (11年永眠) 木村 保成 栗田 満 向坂 義次 庄司 一洋 杉山 裕将 高橋 正 長橋 靖 日吉 照郎 故 本多 均 (13年永眠) 故 大橋 博 (90年永眠)	95	井草 基之 故 岩崎 一弘 (13年永眠) 岡本 隆行 塩崎 享一 島本 祐史 鈴木 伯明 鈴木 泰博 水口 隆太 米山 明德	02	石渡 慎一 小出 國雄 近藤 浩志 齋藤 一臣 齋藤 哲一 庄司 泰隆 鈴木 孝司 中江 章喜 服部 喜和 平山 晴久 松下 智美 宮坂 紀代一 村山 知亮 山本 宣司	11	金子 恭子 軍司 芳孝 小早川 幸磁 故 榊原 優子 (21年永眠) 二俣 延行		
68	友森 寛										12	種田 善一 小平 賢一 菅沼 俊介 諏訪部 稔 半田 健治 渡邊 勝也	
69	水口 昌夫												
71	故 大井 一郎 (16年永眠) 故 白壁 敏夫 (06年永眠) 故 鈴木 昭身 (21年永眠) 故 辻 昌吉 (05年永眠) 故 中川 茂男 (03年永眠) 故 中西 幸雄 (06年永眠)	79	秋山 芳生 小川 義次 影山 恒義 故 桑原 史雄 (96年永眠) 故 鈴木 皓一朗 (02年永眠) 故 高村 光治 (16年永眠)	89	赤堀 肇紀 故 堀山 直行 (14年永眠) 古地 利和 長谷川 均 濱道 知 原 俊範 藤瀬 進一郎 廣田 昇 故 松下 方文 (18年永眠) 山田 薫	97	石川 雄一郎 井村 和弘 尾和 康男 影島 山弘 加藤 修一 栗田 恵市 桜井 康雄 庄司 喜一郎 田代 功 藤江 浩 森田 州治 山口 和也	03	池田 宏明 伊藤 隆太 大村 英彰 奥村 泰宏 小野 茂 小野 博文 加藤 元章 金子 俊道 川口 博賢 國武 正樹 後藤 英一郎 清水 誠 鈴木 吉川 直人 (17年永眠) 渡邊 豊	13	小山 弘道 諏訪部 剛志 高木 恵市 橋 泰正 山田 奈帆美 米元 孝一		
72	故 後藤 全弘 (19年永眠) 故 保坂 静夫 (15年永眠) 故 上 作一 (93年永眠) 故 安田 昌訓 (93年永眠)	80	故 石井 種生 (16年永眠) 今井 俊之 諏訪部 恭一 持田 真幸	90	芦川 豊 故 稲木 祥雄 (12年永眠) 大池 誠実 木村 雅志 故 鈴木 啓司 (23年永眠) 故 高橋 新一 (07年永眠) 故 安田 政義 (24年永眠)	98	金澤 清文 上 精一郎 故 近藤 恒二郎 (01年永眠) 故 佐藤 浩人 (17年永眠) 鈴木 一 名取 正純 増山 敬一 宮澤 英紀 渡邊 聡	04	故 青木 秀実 (23年永眠) 青嶋 隆憲 池田 康男 池田 由佳 石川 佐和子 市川 隆一 岸本 恵美子 小林 孝彦 近藤 浩 高木 光浩 福室 健一郎 室伏 強 安江山崎 真一	14	勝又 康充 柴田 常有 曾布川 麻紀子 多久島 正邦		
73	上田 雅義 故 植松 清高 (13年永眠) 大木 一男 故 金井 敬策 (08年永眠) 故 長谷川 愛次 (06年永眠) 故 松浦 喜男 (03年永眠)	81	故 伊藤 豪俊 (09年永眠) 小笹 皓平 小林 健次郎 白鳥 篤 故 南谷 直美 (19年永眠)	91	坂井 義文 佐川 康夫 勸山 光明 高村 誠 土佐谷 和貴 山下 光彦	99	故 秋山 佳彦 (17年永眠) 稲葉 茂 梅島 茂一 遠藤 豪 長田 健一 柏木 雅博 上條 篤士 木村 光正 工藤 政則 久保田 実 近藤 千秋 後藤 竜樹 斉藤 和子 故 塩崎 栄一 (04年永眠) 故 鈴木 孝明 (06年永眠) 高橋 誠 土屋 英治 土屋 恭博 袴田 敏照 橋本 賢一 保坂 孝始 故 峯村 重輝 (06年永眠) 渡邊 朗	05	飯田 太志 石將勝 大石 智彦 金澤 俊彦 工藤 卓也 栗原 雅樹 杉谷 浩 露木 育男	15	池田 高士 加藤 明子 川口 真澄 児島 佳代 杉澤 教人 園田 勝 十八公 浄滋 長島 玲美 宮下 秀人		
74	故 市川 厚 (23年永眠) 故 片岡 一郎 (25年永眠) 故 加藤 晴俊 (99年永眠) 小林 日出男 故 杉本 節生 (22年永眠) 杉山 一義 高橋 啓之 故 立木 栄一 (07年永眠) 故 早崎 恒治 (11年永眠) 故 北条 利郎 (10年永眠)	82	芦川 稔 故 小笠原 一夫 (25年永眠) 金刺 勝 杉山 勲 宮沢 健二 村松 佳雄	92	岩下 龍雄 故 植松 郁男 (03年永眠) 故 江本 宗昭 (21年永眠) 大嶽 輝晃 大嶽 裕裕 尾崎 敬治 加藤 進 工藤 正明 後藤 行宏 杉山 正則 杉山 一郎 鈴木 典之 深瀬 和彦 望月 美樹 故 山内 一芳 (15年永眠)	06	故 塩崎 栄一 (04年永眠) 故 鈴木 孝明 (06年永眠) 高橋 誠 土屋 英治 土屋 恭博 袴田 敏照 橋本 賢一 保坂 孝始 故 峯村 重輝 (06年永眠) 渡邊 朗	06	井出 尚武 大城 一真 岡田 貴之 原 政彦 平野 正裕 前田 泰広	16	遠藤 啓太 大村 智紀 岡田 貴幸 勝俣 孝明 友一 範善 鈴木 始久 武田 智 土田 保昌 村松 弘充 森 拓也 山下 剛嗣		
75	故 大川 順康 (10年永眠) 故 庄司 睦 (22年永眠) 故 田中 穂積 (98年永眠) 出木 超 故 野田 久雄 (20年永眠) 故 古郡 安雄 (11年永眠) 星谷 泰男 故 松田 久義 (03年永眠) 故 渡辺 孝雄 (04年永眠)	83	故 内野 鉄紀 (07年永眠) 故 小野 恭嗣 (12年永眠) 掛橋 弘 故 瀬戸 和海 (09年永眠) 竜野 輝夫 原 富太郎 増田 陽三 水田 嘉昭	93	故 石原 正和 (18年永眠) 井上 孝喜 尾上 裕 小原 嘉弘 神部 藤男 五味 芳道 庄司 喜則 辻村 浜夫 平田 秀夫 前田 耕輔 望月 達也 山本 豊一	07	伊海 康之 植松 豊 木村 守 小林 太郎 榊原 晃 白壁 浩之 鈴木 克実 高橋 基 常峯 孝幸 松本 俊紀子 三須 王左武	07	伊海 康之 植松 豊 木村 守 小林 太郎 榊原 晃 白壁 浩之 鈴木 克実 高橋 基 常峯 孝幸 松本 俊紀子 三須 王左武	17	海野 雅貴 佐藤 将行 佐野 雅文 藤原 維仁 八木 航一		
76	故 池田 雅博 (22年永眠) 小西川 俊吾 故 柴田 栄吉 (11年永眠) 故 清 俊夫 (96年永眠) 高村 政明 坂東 功一 故 渡辺 良太郎 (17年永眠) 故 市川 治男 (88年永眠)	84	金崎 明弘 故 城所 延芳 (10年永眠) 後藤 靖雄 鈴木 隆義 故 高橋 浩 (24年永眠) 前田 唯良	94	綾部 恵市 石川 秀雄 江藤 晃好 大橋 英司 柏木 順孝 金井 隆直 神農 泰彦 後藤 健	00	井口 清 大野 哲広 大場 公嘉 岡元 貴宏 柏木 剛示 木村 幸男 小林 龍司 鈴木 俊史 鈴木 康哲 芹沢 一幸 芹内 純子 徳田 和人 土井 宣博 中野 幸浩 野秋 和弘 服部 敏一郎 服部 隆利 福島 洋一郎 横山 政彦	08	伊藤 謙吉 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 章弘 山下 和信 渡辺 迅	18	天野 健太郎 小野 好之 上 哲也 木村 昌宏 後藤 裕 長橋 良 中村 謙介		
77	故 遠藤 康昌 (02年永眠)	85	宇野 統彦 杉山 宏幸 鈴木 敏 辻 進 故 土屋 照夫 (24年永眠) 長橋 和彦 野永 巖 村松 敏弘 渡辺 洋	95	宇野 統彦 杉山 宏幸 鈴木 敏 辻 進 故 土屋 照夫 (24年永眠) 長橋 和彦 野永 巖 村松 敏弘 渡辺 洋	01	市川 浩康 植松 清仁 荻原 誠 小野 弘人	09	芦澤 剛彦 故 小笠原 啓之 (17年永眠) 柴田 博司 土屋 雅一 土屋 雄一朗 堤 昭人 武藤 政敏	19	伊藤 康広 金子 直史 清水 孝文 原田 健一 細溝 剛久 山本 真太郎		
		86	榊原 進 故 佐々木 浩男 (16年永眠) 故 佐藤 光義 (22年永眠) 故 鈴木 一信 (97年永眠) 長谷川 徹 一杉 秀二 故 藤原 規夫 (16年永眠) 故 宮代 定典 (15年永眠) 山形 晋一	96	榊原 進 故 佐々木 浩男 (16年永眠) 故 佐藤 光義 (22年永眠) 故 鈴木 一信 (97年永眠) 長谷川 徹 一杉 秀二 故 藤原 規夫 (16年永眠) 故 宮代 定典 (15年永眠) 山形 晋一							20	佐々木 綱柄 中沢 文昭
		87	故 浅見 正昭 (13年永眠) 芦川 勝年	97	故 浅見 正昭 (13年永眠) 芦川 勝年							21	杉澤 研三 鈴木 宏和
												24	芹澤 俊和
												25	小澤 隆佳 加藤 佳史 向坂 真奈美

入会年度年齢表

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	生年 (年齢)	卒業 人数
				若林			荒川 井口 鈴木(佑)	後藤		86 (39)	5
大川							杉澤			87 (38)	2
峰田				辻川			渡邊			88 (37)	3
										89 (36)	0
高木						長田	小林			90 (35)	3
									藤田	91 (34)	1
			小野							92 (33)	1
				堀江					鈴木(大)	93 (32)	2
										94 (31)	0
									中河原	95 (30)	1
										96 (29)	0
							松田			97 (28)	1
							露木			98 (27)	1

※アンダーバーは早生まれ